

5 現役 or 浪人から見る学生生活

和田 龍典

5.1 はじめに

私は今回、社会調査実習の「社会学部卒業生アンケート」を調べることで、現役出身者と浪人出身者で学生生活に違いがあるのかということに興味を持った。そのきっかけとなったことが2つある。1つ目は、私自身が浪人出身であるということ、2つ目は、私には仲の良い友達グループが2つあるのだが（自分以外の全員が現役生である6人グループと、自分を含め全員が浪人生の3人グループ）、それぞれのグループの雰囲気や言動、遊び方などが全く違うものであり、何か関係することがあるのではないかと思ったからである。

私は以前から、「現役生＝若い、はじけている」、「浪人生＝落ち着いている」というイメージを持っていて、これらは学生生活にも何らかの関係があると考えていた。そこで、同志社大学社会学部 2010 年度の卒業生によるアンケートを用いて、現役生と浪人生から見る学生生活の違いを分析していく。

5.2 現役・浪人と属性

まず、現役・浪人と属性（性別や学科など）の関係を3つのクロス表を用いて分析していくことにする。

表 1

性別と現役・浪人の別のクロス表

		現役・浪人の別			合計
		現役	浪人	その他 (編入, 社会人など)	
性別	男性	度数 91	56	5	152
	性別の % 59.9%	36.8%	3.3%	100.0%	
	女性	度数 173	30	11	214
	性別の % 80.8%	14.0%	5.1%	100.0%	
合計	度数 264	86	16	366	
	性別の % 72.1%	23.5%	4.4%	100.0%	

p<.001

表1は、性別に関して分析したものである。現役・浪人別で見ると、男性の方が「浪人」経験者であることがわかった。男性は、約40%弱の人が浪人生であるのに対して、女性は、約10%だけが浪人生であり、ほとんどの人が現役生であることがわかった。確かに、自分

の周りの浪人出身者はほとんどが男性である。これは、男性と女性によって勉強に対する姿勢や性格の違い、家庭の環境などが関係してくるのだろうか。また、女性のほうが浪人しないのは、女子大学があるからであろうか。これらについては、次の章で分析することにする。

表 2

現役・浪人の別と学科・専攻のクロス表

		学科・専攻					合計	
		社会学	社会福祉学	メディア学	産業関係学	教育文化学		
現役・浪人の別	現役	度数	55	63	49	47	54	268
		現役・浪人の別の%	20.5%	23.5%	18.3%	17.5%	20.1%	100.0%
	浪人	度数	14	17	15	18	22	86
		現役・浪人の別の%	16.3%	19.8%	17.4%	20.9%	25.6%	100.0%
	その他 (編入, 社会人など)	度数	2	7	3	1	3	16
		現役・浪人の別の%	12.5%	43.8%	18.8%	6.3%	18.8%	100.0%
合計	度数	71	87	67	66	79	370	
	現役・浪人の別の%	19.2%	23.5%	18.1%	17.8%	21.4%	100.0%	

p=.541

表 3

現役・浪人の別と入試の種類と性別のクロス表

性別	現役・浪人の別	入試の種類				合計	
		一般入試や センター試験	推薦入試や AO入試	内部校からの 推薦入試	その他		
男性	現役	度数	57	12	20	2	91
		現役・浪人の別の%	62.6%	13.2%	22.0%	2.2%	100.0%
	浪人	度数	55	1	0	0	56
		現役・浪人の別の%	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他 (編入, 社会人など)	度数	1	0	0	4	5
		現役・浪人の別の%	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	100.0%
合計	度数	113	13	20	6	152	
	現役・浪人の別の%	74.3%	8.6%	13.2%	3.9%	100.0%	
女性	現役	度数	92	22	59	0	173
		現役・浪人の別の%	53.2%	12.7%	34.1%	0.0%	100.0%
	浪人	度数	26	1	0	3	30
		現役・浪人の別の%	86.7%	3.3%	0.0%	10.0%	100.0%
	その他 (編入, 社会人など)	度数	1	1	0	8	10
		現役・浪人の別の%	10.0%	10.0%	0.0%	80.0%	100.0%
合計	度数	119	24	59	11	213	
	現役・浪人の別の%	55.9%	11.3%	27.7%	5.2%	100.0%	

p<.001

表2は学科・専攻に関して分析したものである。学科別でみると、合計人数から考えてみても、産業関係学科と教育文化学科は浪人生の割合が少し多いぐらいで、全体的には関連は見られなかった。表3は、現役・浪人と入試の種類を男女別で分析したものである。男性は浪人出身者が多く、女性は少ないということは表1の分析で見てきたが、表3の分析では女性の現役出身者の中でも、「内部校からの推薦入試」約40%であることがわかる。男性の現役出身者が約20%であることを考えると、何か関係があるに違いない。このことは、女性が物事に計画的にコツコツと取り組む傾向が多いということが関係しているのであろうか。女性の浪人数が少ないことから考えても、関係がありそうである。

そこで、性別と高校3年時の成績の関係をしてみる。

表 4

性別と高校3時の成績のクロス表

		高校3時の成績					合計	
		上のほう	中の上	中ぐらい	中の下	下のほう		
		度数						
性別	男性	度数	27	38	26	19	40	150
	性別の%	18.0%	25.3%	17.3%	12.7%	26.7%	100.0%	
	女性	度数	51	70	57	21	14	213
	性別の%	23.9%	32.9%	26.8%	9.9%	6.6%	100.0%	
合計	度数	78	108	83	40	54	363	
	性別の%	21.5%	29.8%	22.9%	11.0%	14.9%	100.0%	

p<.001

女性の80%以上が「中ぐらい～上のほう」と回答していることがわかる。一方、男性は「下のほう」と回答している人が最も多く、約30%の人が占めている。この分析からわかるように、明らかに女性のほうが高校3年時の成績は良く、上記で述べたように、女性は物事に計画的にコツコツと取り組む傾向が多く、学業をおろそかにせず、浪人数が少ないということに関係していることがわかる。

5.3 現役・浪人と学生生活の充実度

次に、現役・浪人と学生生活の充実度に関係を見ていく。勉強や遊び、恋愛、サークルなど、何を基準に「充実である」とは明確には決められていないが、「現役と浪人によって充実度が違う」と仮定した。というのも、充実度を「サークル」に置いて考えてみると、自分の周りのことだが、現役生のほうがサークルに入っている人が多く、一方浪人生はあまり入っていない人が多いと感じたからである。

では、実際にクロス表を用いて学生生活に関して分析していくことにする。

表 5

現役・浪人の別と学生生活充実のクロス表

		学生生活充実					合計	
		充実	やや充実	どちらともいえない	やや充実してない	充実してない		
現役・浪人の別	現役	度数	181	58	12	3	2	256
		現役・浪人の別の%	70.7%	22.7%	4.7%	1.2%	0.8%	100.0%
	浪人	度数	52	26	1	1	3	83
現役・浪人の別の%		62.7%	31.3%	1.2%	1.2%	3.6%	100.0%	
その他 (編入, 社会人など)	度数	8	8	0	0	0	16	
	現役・浪人の別の%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	度数	241	92	13	4	5	355	
	現役・浪人の別の%	67.9%	25.9%	3.7%	1.1%	1.4%	100.0%	

p=.092

現役・浪人と学生生活の充実度にはあまり関連がみられなかった。確かに、浪人生は約60%の人が「充実」と回答しているのに対して、現役生は70%でこちらのほうが高い。しかし、「やや充実」になるとクロス表の数値は逆転するので、あまり関係はないように思われる。学生生活の充実度は、勉強や遊び、恋愛、サークルなど、何を「充実である」のかということによってクロス表の数値は異なると考えられる。

初めに、現役・浪人と自宅・下宿の関係を分析してみる。

表 6

現役・浪人の別と自宅・下宿の別のクロス表

		自宅・下宿の別		合計	
		自宅	下宿		
現役・浪人の別	現役	度数	147	111	258
		現役・浪人の別の%	57.0%	43.0%	100.0%
	浪人	度数	40	44	84
現役・浪人の別の%		47.6%	52.4%	100.0%	
その他 (編入, 社会人など)	度数	8	8	16	
	現役・浪人の別の%	50.0%	50.0%	100.0%	
合計	度数	195	163	358	
	現役・浪人の別の%	54.5%	45.5%	100.0%	

p=.305

現役・浪人と自宅・下宿の関係を分析したが、あまり関連がみられなかった。現役生は自宅が多く、浪人生は少し下宿が多いが、これだけでは充実度はわからない。

では、何を「充実である」のかということを分析するために、まずは現役・浪人とサークルの関係を分析してみる。

表 7

学生生活: サークル・同好会 と 現役・浪人の別 のクロス表

		現役・浪人の別			合計	
		現役	浪人	その他 (編入, 社会人など)		
学生生活: サークル・同好会	よくした	度数	89	38	1	128
		現役・浪人の別 の %	35.2%	45.2%	6.3%	36.3%
	ときどきした	度数	57	12	6	75
		現役・浪人の別 の %	22.5%	14.3%	37.5%	21.2%
	あまりしなかった	度数	37	11	0	48
		現役・浪人の別 の %	14.6%	13.1%	0.0%	13.6%
	しなかった	度数	70	23	9	102
		現役・浪人の別 の %	27.7%	27.4%	56.3%	28.9%
合計	度数	253	84	16	353	
	現役・浪人の別 の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

p<.01

現役・浪人とサークルにおける関連は見られたが、現役生のほうがサークル活動をしているという仮説とは異なる分析結果であった。現役生の約 40% がサークル活動を「よくした」と答えているのに対して、浪人生は約 50% であった。この結果から考えると、浪人生は 1 年間（もしくはそれ以上）頑張っただけの勉強ばかりの毎日を経験したから、大学では遊びたいという欲求が強いのだろうか。

では、次に現役・浪人と学業（勉強）の関係を分析してみる。

表 8

現役・浪人の別と GPA のクロス表

		GPA						合計	
		1.49未満	1.50~1.99	2.00~2.49	2.50~2.99	3.00~3.49	3.50以上		
現役・浪人の別	現役	度数	8	34	61	77	59	13	252
		現役・浪人の別の%	3.2%	13.5%	24.2%	30.6%	23.4%	5.2%	100.0%
	浪人	度数	3	18	22	23	15	2	83
		現役・浪人の別の%	3.6%	21.7%	26.5%	27.7%	18.1%	2.4%	100.0%
	その他 (編入, 社会人など)	度数	0	0	1	6	5	4	16
		現役・浪人の別の%	0.0%	0.0%	6.3%	37.5%	31.3%	25.0%	100.0%
合計	度数	11	52	84	106	79	19	351	
	現役・浪人の別の%	3.1%	14.8%	23.9%	30.2%	22.5%	5.4%	100.0%	

p<.012

現役・浪人と GPA の関係を分析したが、全体的に現役生のほうが成績上位という結果であり、関連していると言える。GPA 1.50~2.49 までは現役生よりも浪人生のほうが高い数値であるのに対して、GPA 2.50~3.50 以上までは現役生のほうが明らかに高い数値である。この分析結果から考えられるように、浪人生のほうが学業（勉強）に対する意識や取り組みが劣っていると感じられる。やはり浪人生は学業よりも遊びを重視しているからだろうか。また、高校時代に学業を重視していなかったことが、大学でも表れているのだろうか。そこで、現役・浪人と高校3年時の成績の関係を見てみる。

表 9

現役・浪人の別と高校3時の成績のクロス表

		高校3時の成績					合計	
		上のほう	中の上	中ぐらい	中の下	下のほう		
現役・浪人の別	現役	度数	63	88	64	30	21	266
		現役・浪人の別の%	23.7%	33.1%	24.1%	11.3%	7.9%	100.0%
	浪人	度数	12	17	17	8	32	86
		現役・浪人の別の%	14.0%	19.8%	19.8%	9.3%	37.2%	100.0%
	その他 (編入, 社会人など)	度数	3	4	3	3	2	15
		現役・浪人の別の%	20.0%	26.7%	20.0%	20.0%	13.3%	100.0%
合計	度数	78	109	84	41	55	367	
	現役・浪人の別の%	21.3%	29.7%	22.9%	11.2%	15.0%	100.0%	

p<.01

現役・浪人と高校3年時の成績には関連がみられた。現役生の約半数が「上のほう～中の上」と答えているのに対して、浪人生の約40%が「下のほう」と回答している。この結果から、「現役生＝高校・大学ともしっかり学業を全うする」、「浪人生＝高校・大学とも学業よりも娯楽を重視する」、という傾向にあることが分かった。

現役・浪人と学生生活の充実度のクロス表で示されていたように、現役・浪人の違いでは学生生活の充実度に違いはみられなかった。ただ、何を「充実である」のかということに着目してみると、変化があった。「サークル活動」との関係性をみると、浪人生のほうの参加率が高い。「学業」との関係性をみてみると、現役生のほうが高い。しかし、どれだけサークルに参加しても、どれだけ学業を頑張っても、必ずしも「充実である」とは言い切れない。

5.4 現役・浪人と学生生活の充実度（三重クロスを用いて）

前章の最後に述べたように、どれだけサークルに参加しても、どれだけ学業を頑張っても、必ずしも学生生活は「充実である」とは言い切れない。そこで、「現役・浪人と学生生活の充実度とサークル」と「現役・浪人と学生生活の充実度とGPA」の三重クロスを用いて、それぞれの充実度を分析していく。

「サークル」のクロス表を見ると、右下がりの表であることが分かる。つまり、現役・浪人に関わらず、サークルによく参加した人はほとんどが「充実していた」と答え、参加しなかった人の何人かは「充実していなかった」と答えている。確かに、参加していなかった人の中には「充実していた」と答えている人もいるが、サークル活動が学生生活充実感を高めると言えるであろう。

次に「GPA」のクロス表を見ると、関連していないということが分かる。GPAが高ければ高いほど充実しているという仮説を立てていたが、「1.49未満」も「3.50以上」も「充実していなかった」と答えた人はいなく、全員が「充実していた(どちらかといえば含む)」と答えていた。この分析結果からも成績優秀(学業)が学生生活充実感を高めるとは、決していえないということが分かった。

表 10

現役・浪人の別と学生生活充実と学生生活・サークル・同好会のクロス表

学生生活: サークル・同好会			学生生活充実				合計	
			充実していた	どちらかといえば 充実していた	どちらともいえない	どちらかといえば 充実していない		充実していない
よくした	現役・浪人の別	現役	度数	72	15	1	88	
			現役・浪人の別の%	81.8%	17.0%	1.1%	100.0%	
		浪人	度数	33	5	0	38	
			現役・浪人の別の%	86.8%	13.2%	0.0%	100.0%	
		その他 (編入, 社会人など)	度数	1	0	0	1	
			現役・浪人の別の%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	度数	106	20	1	127		
		現役・浪人の別の%	83.5%	15.7%	0.8%	100.0%		
	ときどきした	現役・浪人の別	現役	度数	35	15	4	55
			現役・浪人の別の%	63.6%	27.3%	7.3%	100.0%	
浪人			度数	4	7	0	11	
			現役・浪人の別の%	36.4%	63.6%	0.0%	100.0%	
		その他 (編入, 社会人など)	度数	2	4	0	6	
			現役・浪人の別の%	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%	
合計		度数	41	26	4	72		
		現役・浪人の別の%	56.9%	36.1%	5.6%	100.0%		
あまりしなかった		現役・浪人の別	現役	度数	23	8	3	35
			現役・浪人の別の%	65.7%	22.9%	8.6%	100.0%	
	浪人		度数	6	4	0	11	
			現役・浪人の別の%	54.5%	36.4%	0.0%	100.0%	
	合計	度数	29	12	3	46		
		現役・浪人の別の%	63.0%	26.1%	6.5%	100.0%		
	しなかった	現役・浪人の別	現役	度数	43	19	4	69
				現役・浪人の別の%	62.3%	27.5%	5.8%	100.0%
			浪人	度数	9	10	1	23
			現役・浪人の別の%	39.1%	43.5%	4.3%	100.0%	
		その他 (編入, 社会人など)	度数	5	4	0	9	
			現役・浪人の別の%	55.6%	44.4%	0.0%	100.0%	
合計		度数	57	33	5	101		
			56.4%	32.7%	5.0%	100.0%		

p=.914(サークル活動を”よくした”のみ)

表 11

現役・浪人の別と学生生活充実とGPAのクロス表

GPA	現役・浪人の別	現役	浪人	その他 (編入, 社会人など)	学生生活充実				合計	
					充実していた	どちらかといえ ば 充実していた	どちらともいえない	どちらかといえ ば 充実していない		充実していない
1.49未満	現役・浪人の別	現役	浪人		度数	7	1		8	
		現役・浪人の別の%	87.5%	12.5%				100.0%		
	合計	度数	10	1				11		
		現役・浪人の別の%	90.9%	9.1%				100.0%		
1.50～1.99	現役・浪人の別	現役	浪人		度数	21	8	2	0	31
		現役・浪人の別の%	67.7%	25.8%	6.5%	0.0%	100.0%			
	合計	度数	30	13	3	2		48		
		現役・浪人の別の%	62.5%	27.1%	6.3%	4.2%		100.0%		
2.00～2.49	現役・浪人の別	現役	浪人		度数	44	12	3	1	60
		現役・浪人の別の%	73.3%	20.0%	5.0%	1.7%	100.0%			
	合計	度数	55	21	4	2		82		
		現役・浪人の別の%	67.1%	25.6%	4.9%	2.4%		100.0%		
2.50～2.99	現役・浪人の別	現役	浪人		度数	50	17	6	1	75
		現役・浪人の別の%	66.7%	22.7%	8.0%	1.3%	100.0%			
	合計	度数	67	28	6	1	1	103		
		現役・浪人の別の%	65.0%	27.2%	5.8%	1.0%	1.0%	100.0%		
3.00～3.49	現役・浪人の別	現役	浪人		度数	42	12	2		56
		現役・浪人の別の%	75.0%	21.4%	3.6%		100.0%			
	合計	度数	57	17	2			76		
		現役・浪人の別の%	75.0%	22.4%	2.6%			100.0%		
3.50以上	現役・浪人の別	現役	浪人		度数	8	4			12
		現役・浪人の別の%	66.7%	33.3%			100.0%			
	合計	度数	11	7				18		
		現役・浪人の別の%	61.1%	38.9%				100.0%		

p=.792(GPA 3.50 以上のみ)

5.5 まとめ

以上では、浪人・現役と学生生活に関してみてきた。人それぞれの性格の違いはあるが、現役 or 浪人かによって学生生活の過ごし方や、充実度などを分析した。そのためには、「属性（性別・学科など）」、「学生生活充実度（サークル・学業など）」を中心の対象テーマとして掲げてきた。

これらの分析の結果、「属性（性別・学科など）」では…

- ・男子：浪人生が多い 内部校からの推薦入試が少ない 高校3年時の成績上位が多い
 - ・女子：現役生が多い 内部校からの推薦入試が多い 高校3年時の成績下位が多い
- …ということがわかった。

「学生生活充実度（サークル・学業など）」では…

- ・現役生：サークル活動を40%ほどがしている GPA上位が多い
高校3年時の成績上位が多い
 - ・浪人生：サークル活動を50%ほどがしている GPA下位が多い
高校3年時の成績下位が多い
- …ということがわかった。

だが、すべての項目において現役・浪人と学生生活充実度の関係にはつながらないこともわかった。また、「サークル活動＝学生生活充実」と言えるが、「成績優秀(学業)＝学生生活充実」とは、決して言えないということが分かった。現役・浪人の別に関わらず、自分自身が何を「充実していた」ということに置くのかによって変わるものだと分かった。